

### 2026 Honda × Aston Martin Aramco F1 Team ニューパートナーシップ始動発表会 スピーチ概要

Honda は 2026 年シーズンより、Aston Martin Aramco Formula One Team（アストンマーティン・アラムコ・フォーミュラワン・チーム）に、ワークスパートナーとしてパワーユニット（以下、PU）を供給することで、FIA<sup>※1</sup> フォーミュラ・ワン世界選手権（以下、F1）に新たに参戦します。2026 年シーズンの開幕に先立ち、本日「2026 Honda × Aston Martin Aramco F1 Team ニューパートナーシップ始動発表会」を開催しました。

本発表会には、取締役 代表執行役社長 三部 敏宏、Formula One Group（フォーミュラワングループ）President & CEO of Formula 1 の Stefano Domenicali（ステファノ・ドメニカリ）氏、Aston Martin Aramco Formula One Team Executive Chairman の Lawrence Stroll（ローレンス・ストロール）氏が登壇しスピーチを行いました。以下、その概要をお知らせします。

※1 Fédération Internationale de l'Automobile（国際自動車連盟）の略称

#### 【本田技研工業株式会社 取締役 代表執行役社長 三部 敏宏 スピーチ概要】

##### ■ Honda の F1 参戦の意義と原点

Honda は 1964 年、四輪車を販売して間もない頃に F1 という世界最高峰の自動車レースへ挑戦しました。数々の困難を乗り越え、翌年 1965 年のメキシコグランプリで初勝利を達成。その後、1980 年代中盤から 1990 年代前半にかけては、Williams（ウィリアムズ）や McLaren（マクラーレン）と共に黄金時代を築き、2021 年には、Red Bull Racing（レッドブル・レーシング）と共にドライバーズチャンピオンを獲得するなど、数々の成果とドラマを生み出してきました。

世界最高峰レースである F1 への参戦は、「世界一にこだわれ」「最も困難なものへ挑戦せよ」という Honda 創業者・本田宗一郎の精神を体現したものであり、Honda が大切にしてきた“挑戦への姿勢”の原点です。



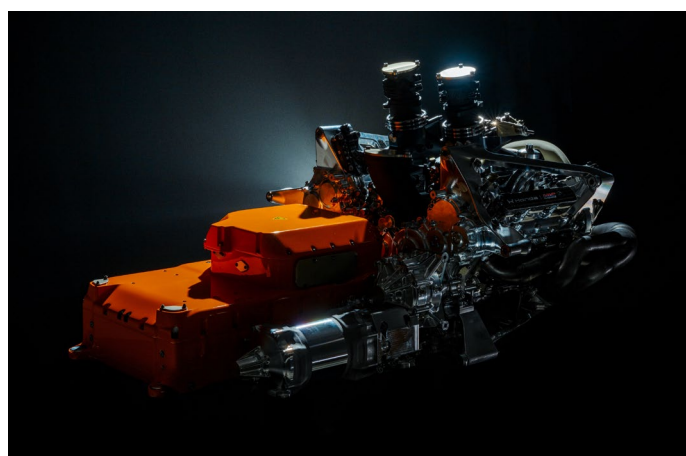
1964 年 F1 初参戦に向けて集まった開発チームの技術者たち



1966 年 F1 開発現場と本田宗一郎

## ■ F1 の新時代と Honda の挑戦

2026 年、F1 は車体と PU の両面で大きなレギュレーションの変革を迎えます。PU では、電動出力が従来の約 3 倍となり、内燃機関にはサステナブル燃料の使用が義務付けられ、F1 は「電動技術」と「脱炭素」両方に挑む次世代モータースポーツへと進化します。さらに、コストキャップ制度<sup>※2</sup>の導入により、限られた開発資源の中で最大限の成果を上げられる開発効率が求められます。Honda は、こうした新時代の F1 を“挑戦と先進性”の象徴と位置づけ、Honda のレース運営子会社である株式会社ホンダ・レーシング（以下、HRC）が 2026 年シーズン向け新型 PU「RA626H」を開発。Aston Martin Aramco Formula One Team と共に、世界の頂点を目指して挑戦を続けます。



新型 PU「RA626H」

※2 FIA が定める、PU 供給に関する年間支出上限制度。なお、チームの年間支出上限についても同様の制度がある

## ■ F1 マシンへの新たな H マークの適用とその想い

RA626H を搭載する F1 マシンには、Honda 四輪事業の新たなシンボルであり、新たなデザインの H マークを掲げます。この H マークは Honda の四輪事業の変革を象徴するもので、F1 をはじめとするさまざまなモータースポーツ車両に掲げていきます（INDYCAR SERIES、SUPER GT、全日本スーパーフォーミュラ選手権、スーパー耐久シリーズに適用予定）。

また、HRC が F1 を筆頭にモータースポーツ活動で培った技術や知見を生かし、走りを磨いた HRC 仕様のモデルを市場に投入することで、モータースポーツ活動を通じて四輪事業に貢献していきます。その方針を具体化した CIVIC TYPE R HRC Concept をベースにしたモデルを市場に投入し、操る喜びや走る楽しさ、そして Honda の挑戦の情熱を体感いただく機会をお客様に提供していきます。

また、F1 は技術の頂点であると同時に、人材育成の場でもあります。世界の強豪たちとの競争の中で鍛えられた人材が再び商品開発に合流することで、より一層お客様に喜びと感動を提供する商品を生み出していくと考えています。



新 H マークを施した 2026 年の F1 マシン



CIVIC TYPE R HRC Concept

### ■ F1 技術の波及と未来への貢献

F1 で培われる技術、すなわち、高効率燃焼や熱マネジメント、高出力モーターや大型ターボといった高速回転領域の技術、サステナブル燃料などの技術は、次世代ハイブリッド車や EV はもちろん、eVTOL や航空機エンジンなど空のモビリティにも応用されています。

具体的には、サステナブル燃料の知見は、持続可能な航空燃料 SAF<sup>※3</sup> や研究中の eVTOL 用燃料へ展開され、高効率バッテリー技術も eVTOL への転用が進んでいます。さらに、モーターやターボの高速回転技術は、航空機エンジンと F1 の間で相互に生かされ、実戦を通じて双方を進化させる好循環が続いています。

Honda は、F1 技術を起点に、陸・海・空・宇宙といった多様なモビリティ分野で技術革新を推進し、モビリティの進化と持続可能な社会の実現に貢献していきます。

※3 Sustainable Aviation Fuel

### ■ F1 人気の拡大と Honda の決意

近年、F1 は世界的な配信サービスや映画などを通じてファン層が拡大し、鈴鹿サーキットで開催される日本グランプリの観客動員数は、昨年、サーキットの大幅リニューアルを実施した 2009 年以降で過去最高を記録するなど、かつてない盛り上がりを見せています。Honda としても、これまで支えてくださったファンの皆様、そして新たな世代のファンの皆様と共に勝利の喜びを分かち合いたいと考えています。

Honda は、2026 年シーズンより Honda と F1 のパートナーシップを象徴する新たなロゴを掲げて活動していきます。Aston Martin Aramco Formula One Team と世界の頂点を目指す姿を通じて、「挑戦のすばらしさ」を広く世界へ伝えていくことを目指して世界で戦っていきますので、応援をよろしくお願いいたします。



## 【President & CEO of Formula 1, Stefano Domenicali 氏 スピーチ抜粋】

Honda と Aston Martin Aramco Formula One Team のパートナーシップにより、両社が共に F1 の最大の栄冠に挑むことは、レース界にとって非常にエキサイティングな節目となります。

F1 と日本の関係は深く、1976 年に日本グランプリが初開催、1987 年には開催地を鈴鹿サーキットに移し、これまで 13 回のドライバーズタイトルが日本で決定してきました。現在、日本には約 1700 万人の F1 ファンがおり、昨年鈴鹿には 26 万 6 千人が来場、日本の視聴者数は前年比 26%増を記録するなど、人気は急速に拡大しています。Honda の復帰は、日本市場における F1 の成長ポテンシャルをさらに後押しするものです。

世界では現在 8 億 2700 万人のファンが F1 を支持しており、その活動は文化、エンターテインメント、音楽、テレビ、映画など、従来とは異なる領域にも進出しています。また、健全なスポーツは関わるすべての人に利益をもたらすべきですが、F1 の各チームも強固な財務状況を維持すると同時に、名だたる一流企業のスポンサーを惹きつけるなど、F1 というエコシステムが世界的なブランドにとっていかに他に類を見ない魅力を持つかを示しています。

Honda が再び F1 に戻ってきた理由のひとつは、2026 年から導入される新たなレギュレーションです。今回、車体と PU の双方が刷新され、F1 史上最大規模の見直しが行われます。パフォーマンスを損なうことなく、先進的なサステナブル燃料で作動する、よりシンプルなハイブリッドエンジンが導入される予定です。

私たちは、Honda と Aston Martin Aramco Formula One Team のサステナビリティへの取り組みに共感しており、F1 としても 2030 年のネットゼロ達成に向けて順調に進んでいます。すでに 2024 年末までに 2018 年比で 26%の二酸化炭素排出削減を達成しており、今後も Honda のようなパートナーと共に、新たな技術革新に挑戦していきます。

**【Aston Martin Aramco Formula One Team,  
Executive Chairman, Lawrence Stroll 氏 スピーチ抜粋】**

Honda とのパートナーシップの始まりを皆様と共に祝えることを大変うれしく思っています。Aston Martin Aramco Formula One Team と Honda は、多くの価値観を共有しています。その価値観こそが、2026 年とその先へ向けて、私たちを強く結び付けました。

英国のシルバーストーンに新設したテクノロジーセンターが完成し、私たちの組織はこれまでにないほど強化されました。新しい風洞設備はすでに開発に大きく貢献しており、現在はさらなる強化に向けてデータセンターの建設も進めています。将来の成功を常に念頭に置きながら、たゆまぬ努力を続けています。

2026 年から私たちは Honda と真のワークスパートナーシップを結びます。これは、シャシーと PU を一つのパッケージとして設計・開発することを意味し、チャンピオンシップ獲得という目標にとって極めて重要な一歩です。

また、Aramco からはサステナブル燃料、Valvoline（ヴァルヴォリン）からは潤滑油の提供を初めて受けることを、大変誇りに思います。私たちの成功には、強力な技術パートナーシップが欠かせません。Honda、Aramco、そして Valvoline が私たちとビジョンを共有し、常に全力で尽力してくれていることに、改めて感謝の意を表します。

我々の英国拠点と HRC Sakura との強固な連携は、私たちのパートナーシップの深さを物語っています。私たちには、勝利を掴むために必要なすべての要素が揃っていると確信しています。そして、ドライバーたちも Honda の PU と、エンジニアたちに絶大な信頼を置いています。また、チーフストラテジーオフィサーの Andy Cowell（アンディ・コーウエル）がチーム内で新たに担う役割は、Honda と私たちがいかに密接に協力しているかを示すものです。彼の豊富な専門知識は、私たちが互いに前進していくうえで大きな力となっています。

日本のファンの皆様、勝利を目指すこの挑戦の旅に、ぜひ参加してください。Honda と共に、私たちは勝利に向けて全力を尽くし、新たな歴史の章を築いていきます。皆様とこの旅路を共にできることを楽しみにしています。引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。